



平成二九年度 秋田県消防功労者表彰式



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二九年度秋田県消防功労者表彰式は秋田県及び一般財団法人秋田県消防協会の主催により、三月二三日(金)午後一時半から、秋田県庁第二庁舎(秋田市山王)で開催されました。式には、受章者など一五〇人が出席しました。

式典は、最初に堀井啓一秋田県副知事が式辞を述べた後、消防庁長官表彰として永年勤続功労章の伝達、秋田県知事表彰として小坂町・井川町・東成瀬村の三町村に無火災表彰が行われたほか、日本消防協会定例表彰として、竿頭綬、功績章、精進章がそれぞれ伝達されました。

続いて、中田潤秋田県消防協会長の挨拶、来賓を代表して竹下博英秋田県議会副議長が祝辞を述べ、最後に受章者を代表して小林憲夫・三種町消防団副団長が謝辞を述べました。

☆表彰者名簿は、二・三頁に掲載。



受章者代表謝辞



日本消防協会長表彰



消防庁長官表彰伝達

平成三十年度全国統一防火標語
忘れてない？
サイフにスマホに
火の確認

式典は、野田聖子総務大臣の式辞に続き、安倍晋三内閣総理大臣をはじめ衆議院議長など三権の長からの祝辞の後、内閣総理大臣表彰(中田潤能代市消防団長ほか一四名が受章)などが行われました。

また、午後からの「消防・防災活動活性化大会」では大曲仙北広域消防本部の赤倉理沙消防士が意見発表を行いました。



『自治体消防制度七〇周年
記念式典』開催される

平成三〇年三月七日(水)一一時から国技館(東京都墨田区)において、天皇皇后両陛下御臨席のもと「自治体消防制度七〇周年記念式典」が開催され、本県からも消防団長など関係者多数が出席しました。

消防庁長官表彰

◆功 勞 章 (1名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防正監 伊 藤 智

◆永年勤続功労章 (76名)

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防正監	森 川 正 明	秋田市消防本部	消防 監	伊 藤 弥真彦
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防 監	杉 山 暁 人	秋田市消防本部	消防司令長	金 森 一 彦
横手市消防本部	消防司令長	菊 地 俊 宏	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	後 藤 実 寿
男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	古 仲 秀 公	男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	菅 原 宏 和
由利本荘市消防本部	消防司令長	鈴 木 忠 忠	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	高 橋 守 元
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	田 村 要 勝	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	永 井 野 口 元 志
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	長 門 勝 之	由利本荘市消防本部	消防司令長	野 口 三 浦 直 志
にかほ市消防本部	消防司令長	本 間 徳 之	秋田市消防本部	消防司令長	三 浦 喜 博
湖東地区消防本部	消防司令	鎌 田 誠 吾	北秋田市消防本部	消防司令	小 林 久 光

三種町消防団	副 団 長	石 井 義 則	秋田市消防団	副 団 長	小 林 雅 樹
三種町消防団	副 団 長	小 林 憲 夫	横手市大森消防団	副 団 長	小 林 司 信
男鹿市消防団	副 団 長	齊 藤 英 一	湯上市消防団	副 団 長	三 浦 良 雄
湯上市消防団	副 団 長	吉 田 初 弘	仙北市消防団	分 団 長	青 柳 正 英
仙北市消防団	分 団 長	浅 利 弘 夫	秋田市消防団	分 団 長	足 利 茂 孝
横手市大森消防団	分 団 長	嵐 田 正 夫	羽後町消防団	分 団 長	池 田 嘉 孝
横手市横手消防団	分 団 長	池 田 猛 豊	北秋田市消防団	分 団 長	石 川 照 雄
由利本荘市消防団	分 団 長	大 友 敏 一	鹿角市消防団	分 団 長	大 西 孝 一
上小阿仁村消防団	分 団 長	加賀谷 和 敏	横手市十文字消防団	分 団 長	柿 崎 敏 幸
秋田市消防団	分 団 長	角 田 茂 夫	能代市消防団	分 団 長	菊 池 喜 悦
井川町消防団	分 団 長	小 林 悦 夫	大館市消防団	分 団 長	小 松 一 雄
大館市消防団	分 団 長	斎 藤 重 春	八峰町消防団	分 団 長	佐々木 吉 則
大仙市消防団	分 団 長	佐々木 克 己	美郷町消防団	分 団 長	佐々木 一 夫
由利本荘市消防団	分 団 長	佐々木 良 一	横手市雄物川消防団	分 団 長	佐 藤 勇 二
にかほ市消防団	分 団 長	佐 藤 正 隆	秋田市消防団	分 団 長	佐 藤 信 一
大館市消防団	分 団 長	下 山 良 春	大仙市消防団	分 団 長	菅 原 明 高
秋田市消防団	分 団 長	杉 山 吉 則	大館市消防団	分 団 長	高 橋 一 博
湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 廣 一	由利本荘市消防団	分 団 長	田 口 明 高
大仙市消防団	分 団 長	田 口 一 男	鹿角市消防団	分 団 長	田 口 義 博
男鹿市消防団	分 団 長	千 田 信 男	羽後町消防団	分 団 長	土 田 定 一
男鹿市消防団	分 団 長	登 藤 輝 美	能代市消防団	分 団 長	戸 松 正 師
能代市消防団	分 団 長	成 田 専 一	北秋田市消防団	分 団 長	畠 山 喜 久 雄
五城目町消防団	分 団 長	畠 山 正 之	仙北市消防団	分 団 長	福 岡 克 巳
大仙市消防団	分 団 長	藤 嶋 俊 彦	大仙市消防団	分 団 長	藤 谷 知 義
藤里町消防団	分 団 長	細 田 直 人	大仙市消防団	分 団 長	堀 井 正 文
北秋田市消防団	分 団 長	村 上 俊 久	大仙市消防団	分 団 長	八 嶋 健 一
大館市消防団	分 団 長	山 本 順 貴	由利本荘市消防団	分 団 長	湯 田 欽 一
八郎潟町消防団	分 団 長	渡 部 勝 則	小坂町消防団	副 分 団 長	浅 利 和 彦
横手市平鹿消防団	副 分 団 長	柴 田 克 弘	横手市山内消防団	副 分 団 長	山 田 鉄 夫

◆竿頭綬 (1 消防機関・1 消防団)

横手市消防本部・横手市大森消防団

消防庁表示証

◆消防団協力事業所表示証 (2 事業所)

A L S O K 秋田株式会社 学校法人ノースアジア大学 秋田看護福祉大学

秋 田 県 知 事 表 彰

◆無火災表彰 (3町村)

小 坂 町 井 川 町 東 成 瀬 村

日 本 消 防 協 会 長 表 彰

◆表彰旗 (1消防団)

仙北市消防団

◆竿頭綬 (3消防団)

秋田市消防団

大仙市消防団

横手市横手消防団

◆功績章 (20名)

鹿角市消防団	副 団 長	板 橋 和 男	大館市消防団	副 団 長	北 村 鉄 正
大館市消防団	部 長	虻 川 久美子	北秋田市消防本部	消 防 司 令	高 橋 憲 二
藤里町消防団	分 団 長	伊 藤 千 宏	能代市消防団	分 団 長	田 中 徹
男鹿市消防団	団 長	鈴 木 敏 信	五城目町消防団	副 団 長	藤 井 好 春
秋田市消防団	分 団 長	鎌 田 均	秋田市消防団	分 団 長	大 島 昌 良
由利本荘市消防団	副 団 長	伊 藤 博	にかほ市消防団	分 団 長	佐 藤 正 隆
仙北市消防団	団 長	荒木田 俊 一	大仙市消防団	副 団 長	小田嶋 俊 一
大仙市消防団	副 団 長	佐 藤 裕 藏	横手市増田消防団	副 団 長	松 井 大 作
横手市山内消防団	団 長	藤 原 博	横手市大森消防団	副 団 長	高 橋 亮 介
湯沢市消防団	副 団 長	近 野 仁	湯沢市消防団	分 団 長	奥 山 優 一

◆精績章 (47名)

鹿角市消防団	分 団 長	湯 瀬 誠 喜	鹿角市消防団	分 団 長	兎 澤 秀 隆
小坂町消防団	分 団 長	成 田 高 雄	大館市消防団	分 団 長	虻 川 弘
大館市消防団	分 団 長	木 村 校 一	大館市消防団	部 長	高 清 水 タマ子
北秋田市消防団	分 団 長	宮 野 一 俊	上小阿仁村消防団	分 団 長	武 石 忠 夫
北秋田市消防本部	消 防 司 令	木 村 誠 一	三種町消防団	副 団 長	石 井 義 則
能代市消防団	分 団 長	工 藤 博 史	三種町消防団	分 団 長	板 倉 吉 孝
能代市消防団	分 団 長	工 藤 正 勝	男鹿市消防団	副 団 長	児 玉 利 則
潟上市消防団	分 団 長	奈 良 仁 寿	五城目町消防団	分 団 長	畠 山 正 之
大瀧村消防団	副 団 長	三 浦 修	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	小 野 秀 悦
秋田市消防本部	消 防 司 令	佐 藤 匡	秋田市消防本部	消 防 司 令	川 辺 伸 治
秋田市消防本部	消 防 司 令	鎌 田 忠 晴	秋田市消防団	分 団 長	菊 地 公 明
秋田市消防団	分 団 長	鎌 田 信 義	由利本荘市消防団	分 団 長	阿 部 昭 彦
由利本荘市消防団	分 団 長	田 口 明 高	由利本荘市消防団	分 団 長	金 森 久 雄
由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 正 樹	由利本荘市消防団	分 団 長	長 谷 山 満
にかほ市消防団	分 団 長	須 田 敦	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 正 監	森 川 正 明
大仙市消防団	副 団 長	佐々木 茂	大仙市消防団	副 団 長	西 嶋 次 男
美郷町消防団	分 団 長	奥 山 幸 誠	仙北市消防団	副 団 長	渡 辺 勇 悦
美郷町消防団	分 団 長	照 井 正 明	横手市消防本部	消 防 司 令	富 岡 公 夫
横手市消防本部	消 防 司 令	讀 岐 勝 美	横手市横手消防団	分 団 長	池 田 猛
横手市大雄消防団	副 団 長	古 内 良 美	横手市大森消防団	分 団 長	嵐 田 正 夫
横手市雄物川消防団	分 団 長	佐 藤 一 夫	湯沢市消防団	分 団 長	菅 原 正 則
羽後町消防団	分 団 長	池 田 茂 英	湯沢市消防団	分 団 長	阿 部 博
湯沢市消防団	副 分 団 長	阿 部 優 志	湯沢市消防団	副 分 団 長	武 石 吉 廣
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	榎 本 永 一朗			

**指揮幹部科現場指揮課程
第一期を実施しました**

大規模災害に対応できる教育訓練の指揮者となる部長又は部長と同等の実務経験を有する班長、副分団長及び分団長を対象とした、消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程を三月一七日(土)から一八日(日)まで秋田県消防学校において実施しました。

本課程は、部隊をとりまとめる知識・技術の修得を図ることを目的とし、指揮幹部科分団指揮課程と併せて修了することで、消防団の活動時における指揮者であることを示す、「き章」が交付されます。

参加の団幹部職員は、真剣な取り組みで訓練に励み現場指揮者としての職責の自覚、規律はもろん、的確な現場指揮及び安全管理を行うための能力向上の目的を達成し修了しました。



ガンノズルによる放水訓練



救命士による救助訓練

第1期 入校者名簿

消防団名	階 級	氏 名
鹿角市消防団	班 長	工 藤 和 広
男鹿市消防団	班 長	原 田 義 一
八郎潟町消防団	班 長	齊 藤 新
八郎潟町消防団	班 長	伊 藤 昭 博
由利本荘市消防団	分 団 長	阿 部 昭 彦
由利本荘市消防団	副分団長	佐 藤 善 文
由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 正 幸
由利本荘市消防団	副分団長	高 沢 敦
由利本荘市消防団	部 長	石 塚 崇
由利本荘市消防団	分 団 長	大 場 太喜夫
にかほ市消防団	部 長	福 川 貴 志
湯沢市消防団	部 長	佐々木 忠 夫
湯沢市消防団	部 長	長 山 儀一郎



エンジンカッターによる切断訓練



コンピツール取扱い訓練

平成30年度主な事業計画

事業項目	実施時期
第1 消防思想普及啓発事業	
1. 火災予防運動の推進	年間
2. 防火ポスターコンクールの実施	平成30年6月～
3. 殉職者慰霊に関する事業	
(1) 秋田県殉職消防職・団員慰霊祭	平成30年8月22日
(2) 全国消防殉職者慰霊祭	平成30年9月12日
4. 広報紙の発行とホームページの開設	
(1) 新聞「消防秋田」の発行	毎月1回(1,100部)
(2) ホームページでの情報提供	年間
第2 地域消防防災力向上推進事業	
1. 消防団員の教養研修	
(1) 現地教養研修の実施	年間
(2) 秋田県消防大会の開催 (横手市)	平成30年6月30日
(3) 各種研修会等への参加	
・女性消防団員教育訓練	平成30年10月27日～28日
・全国女性消防団員活性化滋賀大会	平成30年11月9日
・消防団員指導員研修	平成30年11月17日～18日
・消防団幹部特別研修	平成31年1月15日～18日
・消防団幹部候補中央特別研修(男性)	平成31年1月30日～2月1日
・消防団幹部候補中央特別研修(女性)	平成31年2月13日～15日
2. 消防操法大会の開催	
(1) 秋田県消防操法大会	平成30年9月1日
(2) 全国消防操法大会(富山市)	平成30年10月19日
3. 消防団活動の活性化	
(1) 女性消防団ネットワーク会議の開催	平成30年11月
(2) 消防団長研修	平成30年12月7日
第3 消防職団員福利厚生事業	
第4 消防互助会事業	
第5 会議の開催	
(1) 定時評議員会	平成30年5月29日
(2) 理事会	年3回開催
(3) 会計監査	平成30年4月20日
(4) 消防実務担当者会議	平成30年6月8日

秋田県消防協会第三回理事会が三月二三日(金)、秋田市の「ルポールみずほ」で開催され、平成三〇年度事業計画(案)や収支予算(案)などが承認されたほか、「若手消防団員を対象とした行事の開催」等について協議しました。

**平成三〇年度
事業計画・収支予算
承認される**

秋田県消防協会

平成30年度収支予算

(単位:円)

勘定科目・主な事業費	予算額
事業活動収入計	31,411,300
消防互助会掛金	5,533,000
事業収入	291,000
補助金等	12,819,000
負担金	6,587,000
年会費	5,670,000
その他収入	511,300
事業活動支出計	31,411,300
火災予防運動の支部活動費	900,000
消防思想普及啓発費	2,607,000
秋田県消防大会費	894,000
女性消防団員研修費	212,000
秋田県消防操法大会費	1,409,000
支部消防操法大会助成費	900,000
全県消防団長研修会費	326,000
女性消防団ネットワーク会議費	445,000
消防互助会見舞金支出	1,500,000
その他支出	22,218,300
当期一般正味財産増減	0
一般正味財産期首残	110,000,000
一般正味財産期末残	110,000,000
基本財産	3,000,000

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 **能代消防センター**
 株式会社 **協立**

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
 TEL (0185) (52) 6494
 (52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
 山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

特別研修に参加して

日本消防協会が主催する第四回消防団幹部特別研修及び第一七回消防団幹部候補中央特別研修は、日本消防会館(東京都港区虎ノ門)において実施されました。

本県から参加した六名の受講者から報告がありましたので紹介します。



大館市消防団 団長 齋藤 勉

一月九日(火)から一二日(金)までの四日間にわたり、日本消防会館において開催された研修に参加させていただきました。

研修では最初に日本消防協会の秋本会長より、ご講話、次に総務省消防庁からは消防行政や防災対策について最新の動向や施策を学び、また、消防団実務、火災防ぎよなどを目的とした図上訓練の実施方法等を受講し、実りある研修となりました。さつそく、本研修で習得した知識・情報を参考に、分団長を対象とした災害における図上訓練を県消防学校より講師をお招きして研修会を開催したところでした。

視察研修では、東京消防庁第二方面本部消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー)の方々から、主に大規模災害で使用する最新の特殊車両や救助活動用資機材等について説明を受けました。今後、消防団による救助活動においても必要となる救助資機材等をこの手で触れることもでき、知見を広げるとともに、我が消防団装備の充実強化が急務であることを痛感いたしました。

研修最終日には、これまで討議してきた課題について各班から研究発表があり、私の班では、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化の具体的方策について」を討議しました。地域におけるさまざまな取り組みを生かす声で聞くことができ、我が消防団の今後の取り組みに取り入れることができるアイデアをたくさん得ることができました。

また、地域を越えた交流・研鑽ができ、非常に有意義なものとなりました。意見交換会では全国の団長・副団長の皆さんと交流し、地域で抱えるさまざまな問題・実情など、とても有益な情報交換ができたと思っております。

最後になりますが、このような機会を与えていただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます、研修の報告とさせていただきます。

消防団幹部候補中央特別研修



八郎潟町消防団 班長 加賀谷 真央

今年一月三十一日から二月二日までの三日間、公益財団法人日本消防協会が主催する第一七回消防団幹部候補中央特別研修に参加させて頂きました。

日程の中で特に重点を置いているのは、十班まで編成されたグループで、将来問題となる課題を抽出し、解決していくためにはどうすれば良いかということです。

その中で私は、「サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策」について討議しました。

対策としては、メリットをアピールしての勧誘、企業や地域に消防団協力事業所制度を活用して理解を得ることや、自主防災組織の強化等について意見を述べました。

また、講義後の意見交換会では、リラックスしたムードの中、全国各地で御活躍されている消防団の方々と触れ合うことができ、自分の人生で貴重な時間になったと思います。

最後になりますが、今回の研修で得たことを、これからの活動に生かしていきたいと考えております。



北秋田市消防団 団員 齋藤 雄一郎

日本消防会館で行われた「消防団幹部候補中央特別研修」に全国から一〇四名の消防団員が、また秋田県からは三名が参加しました。

参加に当たりご尽力くださいました関係者の皆さまに深く感謝とお礼を申し上げます。

研修では、日本消防協会秋本会長の講話をはじめ、たくさんの方々の講話の方々から消防活動・活動事例・防災に関する講義が行われ、大変有意義な時間を過ごすことができました。その後の課題討議では十班に分かれ、自分の班は「消防団活動の問題点と解決策について」討議いたしました。

全国各地の消防団の方々と交流し、様々な意見交換が出来ました。今回の貴重な経験を生かし、今後の消防団活動を頑張っていきたいと思っております。



秋田市消防団 団員 佐々木 剛

消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただき、秋本会長をはじめ、災害対策や各分野の専門化によ

る貴重なお話を聞くことができました。

また、課題討議では、与えられたテーマについて、全国の消防団員の皆さんと意見交換をしながら、問題点やそれに対する解決策を話し合うことができました。

特に消防団における訓練のあり方について討議した際に、団員個々の技術の差が大きいという意見が多く、基本訓練の重要性を改めて感じさせられました。

この研修に参加し、消防団活動に対する思いがより一層強くなりました。そして、この貴重な経験を所属する分団に伝え、今後の消防団活動に役立てたいと思います。



にかほ市消防団
班長
佐々木 恵子

今回参加させていただいた、「第一七回消防団幹部候補中央特別研修」では、全国から集まった女性消防団員の消防に対する熱い意気込みに触れることができ、とても楽しく、そして、大変勉強になる研修でした。

講習では、講師の先生方から大変興味深いお話を聞かせていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。そして、研修のメインでもあるグループ討議では、「新た

な消防団活動の展開について」という課題のもと、それぞれの活動内容を発表し合いました。発表された活動内容は、画期的なものが沢山あり、今すぐにも自分達の活動に取り入れたいものばかりでした。

今後は、今回の研修で得られた知識や人脈を、消防団活動に生かしていけるよう努めたいと思います。研修に参加する貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。



湯沢市消防団
団員
後藤 綾

三日間の研修でしたが、講義は国の消防防災の第一線で御活躍されている方々のお話で、もっと聞きたいと思うほど充実した内容となりました。一切眠気はおきませんでした。

全国から様々な階級の団員が集まり行ったグループ討議では、それぞれの立場からの意見や課題などを聞くことができ、本当に勉強になりました。

団員として、一つどころか五つくらい成長できた気がします。この研修で得られた知識、絆を今後の活動に役立て、女性目線を大切に地域防災に貢献したいと思えます。

放課後は
いってきます
街を守りに



あなたの想いが、この街を守るエネルギーになる。
消防団員募集
SYOBODAN

消防団員募集
消防団員募集

消防団に関する詳しい情報は 消防団 <http://www.fdma.go.jp/syobodan/>

ワインの買い付け後に
いってきます
街を守りに



あなたの想いが、この街を守るエネルギーになる。
消防団員募集
SYOBODAN

消防団員募集
消防団員募集

消防団に関する詳しい情報は 消防団 <http://www.fdma.go.jp/syobodan/>

支部情報アラカルト

「東成瀬村に女性消防団が 発足しました」

東成瀬村消防団では、平成二九年五月一日に女性消防団が発足しました。

一人の女性の、「自分たちの地域を守っていこう」という呼びかけから始まった女性消防団は、現在では一〇名の団員が活動しており、地域住民や地元消防団はもとより、湯沢市雄勝郡内の消防団からも、その活躍に期待が寄せられています。



活動は予防啓発広報活動と災害時における後方支援がメインとなっており、今年度は村消防大会分列行進及び運営補助(駆付訓練(避難誘導等)、出初式(分列行進等))にも参加いただきました。

とてもやる気のある皆さんなので今後活動の幅を広げ、地域により密着した活動ができるようまた、のびのびと活動できるように、事務局としてサポートしていきたいと考えています。

(東成瀬村民生課)



また湯沢市消防団では、平成三〇年四月一日より機能別消防団員制度を導入し、元消防団員か元消防吏員を対象としたOB団員の登用を開始しました。

サラリーマン化が進む本市消防団の

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成30年		平成29年			同期比較	
	3月	累計	3月	累計	年計	3月	累計
建物	13	50	14	44	166	- 1	6
林野	4	4	0	0	19	4	4
車輛	2	7	1	8	30	1	- 1
その他	8	12	3	7	51	5	5
合計	27	73	18	59	266	9	14
死者数	2	6	1	5	24	1	1
負傷者数	1	10	5	15	77	- 4	- 5

中で、その豊富な経験・知識を生かし現場での即戦力としての活動に期待しています。

さらに、これまで団本部付であった女性団員の所属について、連携を取りやすく活動しやすい体制を整えることを目的として、女性団員のみで構成される「女性部」を新設しました。今現在一五名の団員が所属していますが、女性部団員不在の地域もありますので、湯沢市全体で防災活動等にあたられるよう、女性部団員の募集にも力を入れていきたいと思えます。(湯沢市総務課総合防災班)

〔情報提供〓湯沢市雄勝郡支部〕

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕力ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp